

できないことを
できるようにさせ
る活動が教育

生徒の立場で考えると

「教えてもらおう」ことが多くなる

→従来の暗記型の教育

＊知識の量、ハウツー(how to)を覚える

しかし、

「自分で、できる」ことが本来
人生を生き抜く力

→（本来の）新しい教育

自分で「何が」できるか？

考える

工夫する

作り出す

協同する（響働する）

コミュニケーションをする

創造する

世界と繋がる

授人以魚
不如授人以漁

中国の老子のことば？

読みは

「人に授けるに魚を以てするは、人に授けるに漁を以てするに如かず」

意味は

「人に魚を授けることは、漁の仕方を教えるに及ばない」

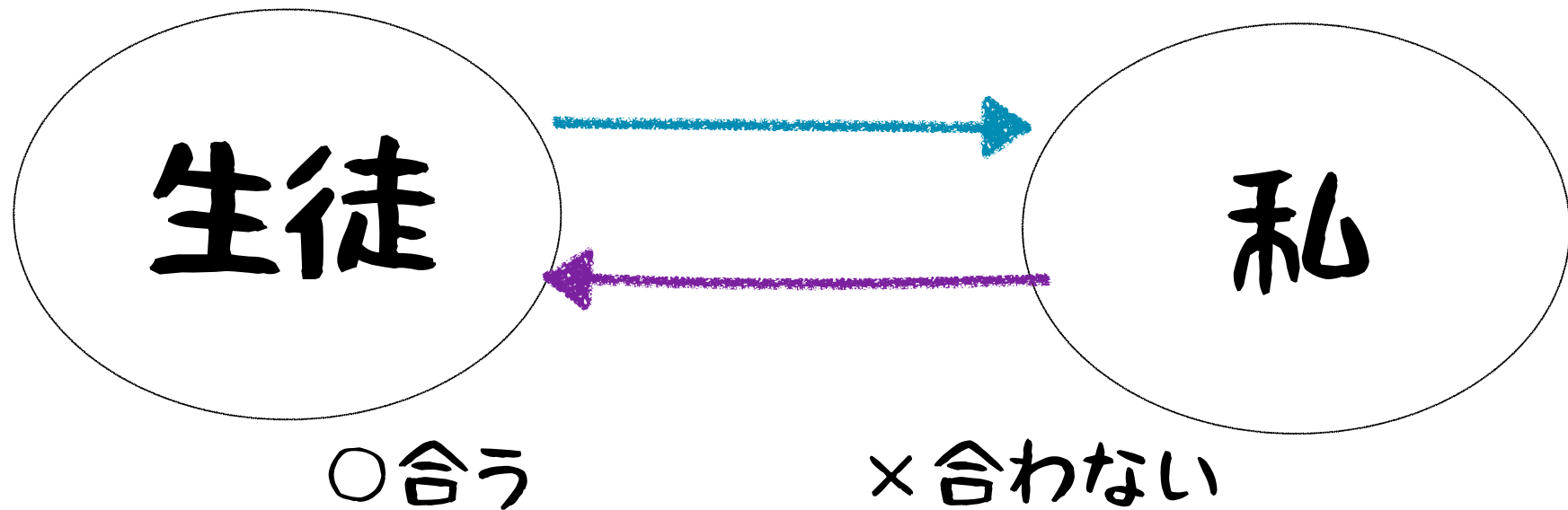
「漁の仕方」 → What ? × How to ~?

例えば、

国語 文章読解の仕方→文構造がどうなっているか
→「論理エンジン」

英語 Spelling + 文構造 → 英作文

数学 公式を覚えるのではなく、自分で公式を発見する
→HP 参照



学習の動機づけ

生徒の内面を知る。そのためには、自分自身が
自らの心の領域に深く入り、知ることが必然

「汝自らを知れ」